



大きく力強く
元気いっぱい
育ってね

わんぱくひろばの子どもや保護者さんが愛の郷陶芸クラブさんと一緒に陶芸体験をしました(関連記事5ページ)。子どもたちの成長が伺える作品ばかりです。

内容

- contents
- 2~3 ふれあいサロンって何だろう？
 - 4 ボランティア通信/東日本大震災ボランティアバス報告
 - 5 地域のお顔を紹介しします/子育て・福祉教育情報
 - 6 やすらぎだより
 - 7 歳末たすけあい募金/善意銀行だより等
 - 8 おしらせ

AISHO



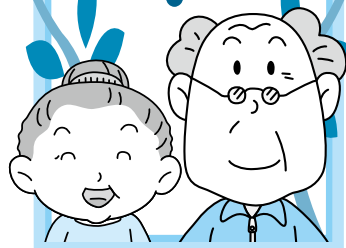
発行者 社会福祉法人 愛荘町社会福祉協議会

愛知川事務所 滋賀県愛知郡愛荘町市731番地
秦荘事務所 滋賀県愛知郡愛荘町安孫子1216番地1

TEL 0749(42)7170 FAX 0749(42)7178
TEL 0749(37)8063 FAX 0749(37)4343 有線2043

Enjoy サロン

ふれあい サロンって何なん だろっ？



ふれあいサロンとは

外に出る機会が少なくなっている地域の高齢者や障がい者、子育て中の親子などが、身近な場所に集まって気軽に楽しい時間を過ごす、「近所のつながり」をつくる場所です。

現在、多くの自治会でサロンを開催されていますが、「そもそもサロンって何?」「何をしたらいいの?」と疑問を持ちながら開いておられる活動者もおられます。

そのため、今回は、高齢者の居場所づくり地域の方が取り組んでおられる情報と併わせて、高齢者のふれあいサロンについてお伝えします。

何をやるの?

地域によって内容は異なります。健康維持や生活に関する情報交換、季節に合わせた内容を取り入れているサロンもあります。

ただ、サロンを運営する方も参加する方も、「何かしなければいけない」と固く考えてしまうと負担が増えてしまいます。そのため、「みんなが集まることに意義がある」と、特別な企画はせずに、その場の雰囲気で行うサロンも増えています。

サロンで大切なことは

・「身近な地域」で行うこと

サロンに「行きたいな」「お手伝いしたいな」と思っても、活動場所が遠いと意欲が半減してしまいます。気軽に利用できるよう、歩いて行ける範囲での活動がいいですね。

・「飾らなく」行うこと

特別なイベントではなく、日常と呼べるくらいサロンが理想です。運営する方も参加する方も居心地のいいサロンであることが大切です。

・「つながり」が大事なこと

「顔は知っているけど、サロンで初めて話した」という声も聞きます。地域でつながりができることは、日常生活に安心感が生まれます。

・「みんなが主役」であること

参加される高齢者だけが主役になるのではなく、運営する方も主役です。「サロンはみんなの場所」という意識が大切です。

矢守いきいきサロン七五会

町内のサロンを紹介します。今回は、「矢守いきいきサロン七五会」と「たけはら鶴亀サロン」、「長野西いきいきサロン」の3か所です。それぞれ内容は異なりますが、みなさん「字の高齢者さんに元気でいてもらいたい」との思いで取り組まれています。

10月13日(木)

矢守草の根ハウスの公園で行われているいきいきサロンに社協がお邪魔しました。



グランドゴルフを楽しむ参加者

多くの参加者は初めての挑戦で、「けっこう歩けるものですね」、「力の加減が難しいわ」と最終賑やかでした。

サロンについて参加者は、「家では昼間一人だから、こういう所に来てしゃべるのが楽しい」、「知った人ばかりだから心安い」と話されます。

福祉推進員の辻喜代次さんは、「矢守も高齢者が増えているので、健康で長生きしてもらうためにサロンが始まったと聞いています。月1回木曜日に行っています。内容は、福祉推進員や字の役員が中心に



福祉推進員の辻喜代次さん

考えますが、字の昔のビデオを見る日はいろいろな回想ができて評判がいいです。来てもらって顔を見られるだけで嬉しいです。」とお気持ちを話されていました。

たけはら鶴亀サロン

また、「こう
いう所に寄せ
てもらえるの
は楽しみなん
や。」と終始
和やかな雰囲気
のサロンで
す。



背筋を正して指の体操！

でも体操やっつる
で」と周りの方に
話されます。
また、「こう
いう所に寄せ
てもらえるの
は楽しみなん
や。」と終始
和やかな雰囲気
のサロンで
す。

参加されている方は、「前より手が挙がる。家
でも体操やっつる
で」と周りの方に
話されます。

毎回サロンの初めには簡単な体操が行われます。
参加されている方は、「前より手が挙がる。家
でも体操やっつる
で」と周りの方に
話されます。



民生委員の西堀 富子さん

たけはら鶴亀サロン
は、今年4月からスター
トし、月1回主に午前中
に開催されています。

サロンの立ち上げた経
過について、民生委員の
西堀富子さんは、「字の
高齢化が進み、サロンを
字の福祉活動として組織化して継続できたら、と
区長さんや評議員さんと話し合ったことがきつ
けです。」と話されます。

サロンの運営については、「11人のボランティア
アが中心に行っています。女性は話すだけでもい
いし、男性は何かしたいと思う方が多いので、楽
しめる内容を考えるのが大変です。自然に参加者
が寄って、「こんなことしてみたい」と声が出て
くるサロンが理想ですが、喜んでもらえると感じ
て、いろいろ思案してしまっんです。」と率直
な感想をいただきました。

長野西いきいきサロン

長野西い
いききサロ
ンは、字内
で老人会に
入らない高
齢者が増え、
平成9年に
「高齢者が
楽しんで参
加できる場
所を提供し
たい」と活動



女子会、やっぱりおしゃべり大好きです！

が始まりました。

社協がお邪魔した10月19日(水)は、秋晴れの
気候を話題にしながら「涼しいのは朝と晩だけや
な」、「油断したらあかんで」などのたわいなし会
話を楽しんでおられました。

サロンでは、毎回その月生まれの参加者さん
をお祝いされています。この日は、10月生まれの2
名の参加者さんに「これからもお元気で」とボラ
ンティアからお花をプレゼントされました。

福祉推進員の谷川啓さんは、「毎回、参加者さ
んの体調を気にかけています。長い歴史のあるサ
ロンなので、運営の役割が廻ってきた時は、『自分
の代で途切れてはいけない』と少し気構えました
が、他のボランティアさんや参加者さんにも助け



福祉推進員の谷川 啓さん

てもらってサロンが
成り立っています。

せっかくなら、参
加するみんなが楽し
く過ごしたいと思っ
ます。」とお気持ちを
話していただきました。

サロンをしたいけど
どんな内容にしようか
困ってしまう…

「みんなが集まることに意義がある」サロンですが、
「そんなこと言ってもやっぱり内容を考えるのが大
変」とのお声もよく聞きます。

社協では、年に2回、サロンを運営する方やサロ
ンをやってみたいという方を対象に、「サロン連絡
会議」を開催しています。

9月29日(木)には、今年度2回目のサロン連絡
会議を行い、福祉レ
クリエーションワ
ーカーの蒲生陽子さ
んを講師にお迎えし、
地域で楽しく集える
場所づくりを行うた
めのレクリエーショ
ンを教えていただき
ました。

この会議は来年度
も行う予定をしてい
ますので、関心のあ
る方はぜひご参加く
ださい。



福祉レクリエーションを学ぶ参加者

サロンの相談お受けします！

サロンの運営や福祉レクリエーション、芸能ボラ
ンティアさんに関する相談は、愛荘町社会福祉協議
会(連絡先は表紙に記載)にご連絡ください。

あいしょう

ボランティア通信

東日本大震災支援 ボランティアバス運行

9月25日～28日に本会から東日本大震災支援ボランティアバスを運行しました。町内から8名と本会職員2名を乗せて、一路宮城県南三陸町へ出発しました。

活動日初日は、南三陸町災害ボランティアセンター（以下、「VC」）を訪問し、住民の皆さんからの44,054円の募金を現地災害VCへの活動資金として手渡しました。

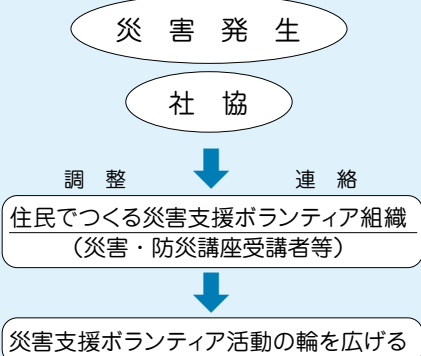
活動初日は、災害VCからの依頼を受け、漁港での活動となりました。漁港到着後、依頼者からの説明を受け、袋に砂利を詰め、漁で使用する重りを作る作業、網を補修する作業、倉庫内の清掃に分かれ、作業を行いました。休憩中には現地の漁師さんから震災当初の状況を話していただき、参加者からは悲痛の声が聞かれました。

活動2日目も前日と同じ場所での活動となり、黙々と作業を行いました。袋に砂利



現地災害VC職員に支援金を手渡す様子

今回の被災地支援を通して、本町で災害が起きた際に早急に行動できるネットワークを組織したいと考えております。

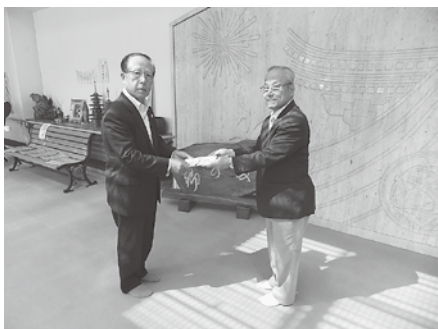


精一杯、活動しました

を詰める作業では、10トトラック2台分の砂利があり、この量は一日では無理だろうと参加者の中から聞こえましたが、活動終了時間直前に作業を終えることができ、参加者からは安堵した顔が見られました。今回の経験を本町での災害支援のあり方に活かしていきたいと考えております。参加者の皆様、また、募金にご協力いただいた皆様、ご協力ありがとうございました。

活動に役立ててください!

愛荘町ボランティア協議会「つむぎ」から東日本大震災支援ボランティア活動費として80,000円のご寄付をいただきました。この寄付金は9月25日～28日の期間、宮城県南三陸町でのボランティア活動に活用させていただきました。ありがとうございました。



目録を渡す「つむぎ」珠久清次会長（右）

東日本大震災ボランティアバスに参加された西山 日出夫さんに感想をいただきました。

今年4月に宮城県亘理町で活動した時と比べて、今回は家や道路の整地が進み、ある程度ボランティアが支援できる時期は済んだように思いました。今、瓦礫の県外移転の問題がありますが、私は、その土地で処理できる施設を作り、被災者の雇用を生み出すことが必要だと思えます。



西山 日出夫さん

今回のボランティア活動は、知った仲間と行けて気は楽でしたが、現地で袋に砂利を詰める作業は、黙々とこなす感じでした。現地の人ともう少し話せると良かったと思います。

愛知郡は2つのダムに挟まれ、水害への備えがいたる地域です。そのため、「まずは自助」の考えのもと、日頃の訓練が必要です。災害について、ボランティアの一員として人手が必要なときは、また呼んでください。

地域のお顔を紹介します！

町内で福祉活動をされている方をリレー形式で紹介します。今回は、円城寺の村西 昌和さんです。

■ボランティアを始めたきっかけ

子どもの頃、親から「目立たなくても、人に喜んでもらえることをしなさい」と言われていたので、出かけた先でバラバラに脱いである履物が気になり揃え始めたのがきっかけです。始めは勇気がいったし、いい事をしているのに「何でこんなに恥ずかしいんやろ」と思いました。周りの目を気にしてたんやと思います。

■現在の活動内容を教えてください。

町内外のサロンでレクリエーションをしたり、学校支援ボランティアとして稲作体験などの手伝いをしています。自分が苦痛に思う活動はしないし、履物は今では孫と一緒に揃えてくれます。

■今後やってみたいことを教えてください。

「ありがとう」、「ごめんなさい」、「お先にどうぞ」と言える関係ができれば、もっと居心地のいい地域になると思います。そのために、子どもや孫にも「人に喜んでもらえることをしなさい」と伝えていきたいです。

※「人に喜んでもらいたいし、自分自身も楽しみたい」、そのお気持ちがボランティア活動につながっているのですね。



村西 昌和さん

福祉体験

愛知川小 4年生

10月17日(月)愛知川小学校において4年生の児童が車いす体験を行いました。車いすの使い方、階段の登り方などを実際に体験し、車いす移動の難しさを実感しました。



この体験を通して、車いすを利用する人が安全に生活するために、何ができるかを意識してほしいと思います。

◀少しの段差が難しいなあ

愛知川東小 4年生

10月3日(月)、5日(水)に福祉センター愛の郷において愛知川東小学校4年生が福祉体験を行いました。

車いす体験、作業所・デイサービス見学に分かれ、福祉に対する理解を深めました。児童からは「夏休みにまた見学に来たい」などの声がありました。



▶職員の説明を聞く児童

わんぱく日記

保育士の「ちょっと聴いてよ〜」

わんぱくひろばで、2歳のA君と3歳のB君がおもちゃをめぐって大げんか。A君がB君を叩いてしまつて保護者さんもひやひやです。二人の頭を冷やすため外出すると、A君が上手に靴を履けず困っていました。するとB君がA君の靴を履きやすいように揃えてあげて…A君は素直に「ありがとう」と。少し「ほっ」としました。



「ありがとう」という言葉は
素敵ですね!

陶芸体験

10月12日(水)わんぱくひろばで陶芸体験を行いました。当日は愛の郷陶芸クラブの皆さんの協力で、伸ばした土に子どもたちが手や足形を押し、色を付けました。

子どもたちの保護者さんも、わが子の成長を形に残そうと一生懸命で微笑ましい光景でした(作品は表紙に掲載)。



▶上手に手形をおせるかな?

生きがい対応型
デイサービス

やすらぎだより



やすらぎデイサービスは、中山道沿いの歴史ある街並みの中に建物があります。
 玄関前の駐車場は、年に数回はグラウンドゴルフ場となります。
 裏の花壇は、利用者さんからいただいた苗や球根がドンドン増え、年中いろいろな花が咲いています。今年の夏には観賞用南瓜がたくさん採れ、10月にはサツマイモをおこしました。「来年はもっとたくさん採ろう!」と計画しながら、サツマイモを使っておやつ作りをしました。
 運動会や菊花展、紅葉狩りなど、季節に応じた催しや、気の合う仲間で大正琴や指あみを楽しんでいきます。
 外出・対話・交流することにより脳の活性化を図りましょう。

日常の1コマ

どこ
置かはる?

分からーん



腕
よう
拳
がる
やん



家
でも
体
操
し
て
る
し
な。

コ
マ
と
か
く
し
ぶ
り



鉛筆取って

～1日の流れ～

- 10:00 健康チェック・体操
- 11:00 レクリエーション
- 12:20 昼食 休憩
- 13:30 趣味活動
- 14:30 体操 おやつ
- 15:00 お疲れ様 (希望者送迎)

利用料金 1,000円 (昼食込み)
利用対象者 65歳以上
 (介護保険利用の方は不可)

やすらぎデイサービスは、高齢者さんの閉じこもりを防ぎ、生きがいを持って自立した生活を続けていただくことを目的としたデイサービスです。

「最近出かける機会が少なくなった」、「ひとり暮らしで、話す人がいなくて寂しい」という方は、やすらぎに来ませんか?

見学や利用のお申込みは、愛荘町役場福祉課 (37-8053)、地域包括支援センター (37-8080) へご連絡ください。



実習に来てくれました

8月18日～9月30日まで、町社協に佛教大学3回生の早川華代さんが実習にこられました。約1ヵ月間、社協や地域の活動に積極的に参加し、その感想をいただきました。



早川華代さん

愛荘町社協は住民の方々と頻繁に関わっており、私も多くの方々と関わることができました。直接お話をうかがうことで、子育てサロンに参加しているお母さんたちにとってのサロンの在り方や、サロン指導員、民生委員、ボランティアの方々の思いや考えなどを知り、熱心に活動をされているのだと思いました。また、それぞれの方が抱えている問題を間近で見たり聞いたりすることができ、地域福祉の現状や課題を実感することができました。

大学の講義で学ぶだけでなく、実際に地域の中に入り、さまざまな人と関わったり、活動に参加したりすることで、社協の役割を理解でき、講義では学べない地域の特性や問題も知ることができました。実習を通して社協についてもっと知りたい」とさらに興味がわきました。

この貴重な実習で学んだことや感じたことを無駄にせず、今後の勉強に活かしていきたいと思います。

実習お疲れさまでした。
次はボランティアとしても社協の活動に協力してくださいね♪

歳末たすけあい募金にご協力をお願いします



12月1日から歳末たすけあい運動が始まります。
集められた募金は、新しい年を安心して迎えられるように、低所得世帯やひとり暮らし高齢者の方々、福祉施設などにお届けさせていただきます。

より良いサービスの提供を目指します！

9月16日(金)にサービス向上の一環として、社協介護サービス担当職員が、「記録の取り方」の研修を行いました。当日は、滋賀県介護福祉士会の鶴房祐治さんを講師にお迎えし、記録の必要性や伝わる記録を書く方法などを教えていただきました。



研修の様子

善意銀行だより

善意銀行へのご寄付をいただきありがとうございます。

みなさまの善意を地域福祉の向上に役立てていきます。また野菜や物品のいただきものは社協事業などで活用させていただいています。

今後ともよろしく願いいたします。

- ・小川 順一 様 玄米30kg
- ・長野西珍ジャグクラブ様 5,000円

(平成23年8月16日～10月31日)

「社会福祉のつどい」のお知らせ

住民が地域で支えあい、助け合う心豊かな福祉のまちづくりを目指し、町民の福祉活動への意識向上と自主的な参加を願い「つどい」を開催します。

日時 平成23年12月3日(土) 9:00～11:50

場所 愛荘町立福祉センター愛の郷

内容 1.表彰式

社協会長表彰
愛知川老人クラブ連合会長表彰等

2.記念講演「笑いの中に健康あり」
講師 林家 染丸 氏 (落語家)



林家 染丸 氏

わんぱくひろばにおいでよ♪

この広場は地域のボランティアさんや保護者さんを中心に身近な場所で「ほっ」とできる交流の機会と、安全な遊び場づくりを目指しています。

☆開催日 毎週 月・水・木（祝日除く）

☆場所 福祉センター愛の郷

☆時間 9:00～12:00/13:00～15:00



毎月

第1・第3木曜日 午前 わんぱくサロン（無料）

第2木曜日 午前 金魚クラブ（50円）

第4木曜日 午前 くじらクラブ（50円）

☆持ち物 水分補給のためのお茶をご持参ください。
※お昼のランチを持ってきて食べることができます。

★わんぱくサロン★

【参加対象者】就学前の子どもとその保護者

【開催日時・場所】

月	日	時間	場所
12月	1日(木)	10時～12時	福祉センター 愛の郷
	15日(木)		
1月	5日(木)		
	19日(木)		
2月	2日(木)		
	16日(木)		

【参加費】無料

★金魚クラブ★

【参加対象者】0歳児～1歳児の子どもとその保護者

【開催日時・場所】

月	日	時間	場所
12月	8日(木)	10時～12時	福祉センター 愛の郷
1月	12日(木)		
2月	9日(木)		

【参加費】50円(飲み物代等)

★くじらクラブ★

【参加対象者】2歳児～就学前の子どもとその保護者

【開催日時・場所】

月	日	時間	場所
11月	24日(木)	10時～12時	福祉センター 愛の郷
12月	22日(木)		
1月	26日(木)		

【参加費】50円(飲み物代等)

※上記お問い合わせは、愛知川事務所までどうぞ

ひとりで悩むより 一緒に考えませんか？



社協は、地域で生活をしていく上での窓口として、相談事業をおこなっています。

福祉相談

この相談所は、職員が町民みなさんの福祉に関する相談の窓口として、社協の各事務所で開設しています。匿名での相談もかまいません。

心配ごと相談所

この相談所は、民生委員児童委員などの相談員さんが町民みなさんの生活に関するあらゆる相談の窓口として開設しています。匿名での相談もかまいません。社協の各事務所にて設置しています。

月	日	時間	場所
12月	7日(水)	13:30 ～15:30	愛の郷
	14日(水)		いきいきセンター
	21日(水)		愛の郷
1月	11日(水)		いきいきセンター
	18日(水)		愛の郷
	25日(水)		いきいきセンター
2月	1日(水)	愛の郷	
	8日(水)	いきいきセンター	
	15日(水)	愛の郷	
	22日(水)	いきいきセンター	

※心配ごと相談は、電話でのご相談もお聞きしています。

電話番号 愛の郷 42-5843(直通)

いきいきセンター 37-8063

※愛の郷開催分 行政相談所 毎月第2水曜日

人権相談所 毎月第4水曜日

編集後記

▼先日、家の近くで高齢の女性に出会いました。「娘の家を探しているが、分からなくなりました。」とのこと。

▼しばらくすると、娘さんらしき人と出会え、「お婆ちゃん、認知症でよくウロウロするんです。迷惑をかけてごめんなさい」と話されました。

▼介護をしている人が「迷惑をかけてごめんなさい」と言わなくてもいい世の中になればいいな、と思いました。(◎)

